

## 第26期業績のご報告

(2021年7月1日～2022年6月30日)

2022年 9月 吉日  
日本システムバンク株式会社  
代表取締役社長 野坂 信嘉

当事業年度における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが見られました。

当社が属する駐車場業界においては、2021年7月から2021年9月にあつては、緊急事態宣言に基づく外出自粛の影響を受けました。2021年10月から2021年12月にあつては、感染者数の減少により全国的に売上の回復が見られました。2022年1月から2022年3月にあつては、オミクロン株による感染拡大の影響を受けました。2022年4月から2022年6月にあつては、感染者数の減少により全国的に売上の回復が見られました。

このような状況の中、当社は「社員及び関係者の安全確保」という基本方針の下、不採算駐車場の縮小や厳選した新規投資を実施し、可能な限り利益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は5,735,011千円(前事業年度比96.2%)、営業利益は133,535千円(前事業年度は157,132千円の営業損失)、経常利益は121,280千円(前事業年度は162,974千円の経常損失) 当期純利益は61,749千円(前事業年度は422,980千円の当期純損失) となりました。

事業区分別の業績は以下のとおりです。

### 【コインパーキング(以下CP事業)】

当社のCP事業は、主に、CPの運営事業と駐車場機器の販売・保守事業で構成されています。

CP運営事業におきましては、感染症の影響減少による駐車場の稼働率の回復が見られましたが、先行きが不透明な状況を踏まえ、引き続き不採算駐車場の縮小及び厳選した新規駐車場の開設に取り組みました。

駐車場機器の販売・保守事業におきましては、既存得意先を中心に販売活動を行いましたが、感染症の感染拡大を見据えた駐車場の新規開設控えにより、売上が落ち込みました。

以上の結果、売上高は、5,599,627千円(前事業年度比96.6%)となりました。

### 【プロパティマネジメント事業】

当事業年度においては、賃貸ビルの売却により保有物件数が減少した結果、売上高128,344千円(前事業年度比79.2%)となりました。

事業別の売上高は次のとおりであります。

事業区別	売上高	前期売上高	前期比
コインパーキング事業	5,599,627千円	5,796,458千円	96.6%
プロパティマネジメント事業	128,344千円	162,060千円	79.2%
その他の	7,039千円	5,647千円	124.6%
合計	5,735,011千円	5,964,166千円	96.2%